

①経営体の概要

- 所在地:宮崎県川南町
- 経営体名:株式会社アグリパートナー宮崎
- 作付面積(受託含):飼料用とうもろこし120ha、加工用馬鈴薯5ha、堆肥散布80ha、耕起約100ha、サイロ用飼料作物113ha、その他飼料作物等20haほか
(GPSTラクター作業:耕起、不耕起播種等 約500ha)
- その他:農業機械を他社と共同開発、機械の自社整備

②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- GPSTラクター JOHN DEERE 150ps



GPSTラクター



専用ハンドル(トリンプル)

③導入の経緯

- 農地を集約し、大規模圃場(最大8ha)で作物を栽培する上で作業の効率化等を目的にGPSTラクターを導入

④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- なし

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 作業人員及び労働時間の削減
 - 機械力を駆使した正確な作業で重複作業の防止
 - オペレーターの疲労軽減
 - 夜間の作業も可能
- 以上のこと等から導入前より大幅に作業効率が向上し、低コスト化が図られ、正確な作業が可能になった

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- それぞれの機械や部品が高価になる
- コンピューター系の故障の場合、修理に日数がかかる。



全長28メートルブーム付き散布機の牽引